

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	磁気環境 WG	主 査 名：岡崎 靖雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会	委員長名：銚井 修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>設置目的 建物の磁気環境に関する現状および将来の課題の整理 今後の磁気シールドの用途と要求性能の把握 WHO の生体影響に関する報告への対応</p> <p>2004 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先端技術分野の磁気環境関連の研究施設等の調査 ・ 商用周波数低周波磁界を中心に磁界の健康影響に関する調査研究活動 ・ 磁気環境の評価法のまとめ 	
委員構成 (委員名(所属))	岡崎靖雄(岐阜大)、石川登(清水建設)、石塚一男(リケンエレテック)、奥野功一(問組)、川瀬隆治(東急建設)、上原浩二(積水ハウス)、小穴孝夫(電中研)、斎藤健(鹿島)、新納敏文(フジタ)、竹内信次郎(ユニテック)、中村祐介(奥村組)、藤原修(住特金)、増原秀樹(日立)、宮崎弘志(大成建設)、山崎健一(電中研)	
設置 WG (WG 名:目的)	磁気環境評価 SWG: 磁気環境および磁気シールドルームの性能評価法の検討	
2004 年度予算	50,000	円

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004.4~2005.2 に 6 回 2004.4.20・8 名、 2004.6.9・7 名、 2004.7.7・5 名、 2004.10.21・10 名、 2004.12・7 名 2005.2・7 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 磁気環境に関する動向調査 ・ 先端技術施設見学と磁気環境関連技術の意見交換 ・ 国立環境研究所、宇宙航空開発機構筑波宇宙センター、電力中央研究所、 ・ 磁気環境評価法に関する調査と意見交換 先端技術分野の磁気応用技術と所要磁界環境の要件を建築分野からまとめを行った。 低周波磁界の健康影響に関する調査 ・ WHO 生体影響に関する報告への各機関の対応調査 ・ 低周波磁界と健康影響への最新の研究調査 WHO の研究調査は継続中であり、今後とも継続して調査を進める必要がある
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 初年度、最終年度と 2 年間の活動はほぼ計画通りに進められた。達成度 95%
その他評価すべき事項	11 月の電磁環境シンポジウムにおいて、WG の活動成果の一部を報告した。